

A J U自立の家とは…

昭和 48 年、車いすの仲間（愛知重度障害者の生活をよくする会）と愛の実行運動（A J U）が出会い、健常者も障害者も共に、誰もが住める福祉の街づくり運動に取り組んできました。

昭和 59 年、重度障害者の働く場づくりをめざして小規模作業所「わだち作業所」を開設。その後、寛仁親王殿下より「障害者の下宿屋」という御提言を戴き、企画の段階から法人設立、施設建設まで多岐にわたり御指導、御尽力を賜り、平成 2 年「A J U自立の家」が完成しました。

「A J U自立の家」は重度障害者が市民と共に、地域社会の中で豊かな生活創造を実現するために、3つの機能、

- ・ 持てる機能を活かす場（わだちコンピュータハウス）
- ・ 暮らしの拠点としての場（福祉ホームサマリアハウス）
- ・ 地域社会、仲間との交流の場（デイセンター）

をまとめ、今までになかった全く新しい福祉の試みにチャレンジしています。最大の特徴は、施設の企画から運営に至るまで、障害者自身が中心になり進めていることにあります。

このように、「A J U自立の家」は障害者自身が福祉を受ける立場だけでなく、福祉を創るという積極的な取り組みの中から、たとえ寝たきりでも生きていてよかったといえる社会をめざし、名古屋の新しい福祉を担っていきます。

